

平成27年度 うさみの園 ヘルパーステーション

事業報告書

1. 事業運営の概要

- ・ ケアプランに添って、利用者各人の人格、意思を尊重しその方の置かれている環境に応じて、適したケアを行い、住み慣れた場所で安心して自分らしい生活が送れるよう、サービスの提供に努めた。自宅での生活が維持できるようにケアマネジャーや他事業との連携を積極的に図り、情報を共有しサービス内容の改善に努めた。
- ・ 施設への入所・入院・他界等により増減のある中で、常に30人以上の利用人数を確保し、5月以降は35人以上を保つことができ利用率も向上した。

2. 事業計画の実施状況

(1) 業務の改善

① 情報の共有

利用者とのコミュニケーションを図り、心身の変化等早期発見に努め、家族やケアマネジャーへの適宜報告を行なうように努めた。

② 個別介護支援

居宅サービス計画書に基づき、訪問介護計画書に沿ったサービスの提供をし、質の向上に努めた。

各利用者宅に申し送り事項や、必要に応じて血圧や排便等表を一カ月ごと記入した。

在宅でも季節や行事を感じて頂くように工夫をし、利用者との関わりを築いた。

③ 訪問車の点検

ステーション専用車両の適正使用と日常点検を敢行し、安全運転を心掛け、的確な訪問サービスに活用した。

(2) 環境整備

ヘルパーが感染源とならないよう、委員会等の情報を参考にし、手指の洗浄消毒、うがいを徹底し、施設内のインフルエンザ予防接種を実施し予防に努めた。使い捨てのグローブや消毒用アルコール、マスク等を常に持ち歩くようにし、脱水や食中毒にも常に気を付けた。また、自分だけでなく家族が感染した場合も、早めの医療機関への受診、完治するまでの家庭内療養の徹底に努めた。

(3) 職員の資質向上

① 会議・委員会の参加

- ・ 施設の主催する各会議・委員会に積極的に参加し、課題を共有し業務の改善・適正運営を行った。又、訪問系サービス部会(奇数月、年6回)に積極的に参加し、情報収集に努めた。

- ・ 毎月ではなかったが、よりよいサービスを提供する為、ヘルパーステーション会議を実施し、課題の分析・今後の方針について話し合った。
- ・ 施設内の行事に出来る限り参加した。

② 内部研修の参加

施設職員全体での内部研修に参加し、参加出来ないヘルパーには、資料を配布して知識の向上に努めた。

③ 外部研修の参加

- ・ 平成27年度介護保険サービス事業者説明会(集団指導)へ出席した。
- ・ 自己による資質向上、資格取得に向け学習し、1名介護福祉士を取得した。

(4) 災害対策と事故防止

- ・ 災害対策時は、施設内のマニュアルに沿って行動を行うことを改めて確認した。
- ・ 事故防止マニュアルに沿ってリスク回避をこころがけ、利用者の安全確保を行った。

(5) 地域との連携

- ・ 高校や介護講座事業者からの実習生の受け入れを行った。
- ・ 地域包括支援センターとの連携を図り、地域の利用者が住み慣れた地区で、自宅での生活が維持できるように支援した。
- ・ 地域包括支援センター主催地域ケア会議に参加し、事例検討や情報の共有を図った。